

長岡第五小 児童手作り

間伐の竹で万華鏡

長岡京市下海印寺の長岡第五小の児童が23日、放置竹林の竹を使って万華鏡作りに取り組んだ。竹筒をのぞいた子どもたちは、合わせ鏡がつくり出す不思議な景色に夢中になっていた。



放置竹林の竹で作った万華鏡を楽しむ児童

(長岡京市下海印寺・長岡第五小)

無限の変化に夢中

同小の校区住民でつくる地域コミュニティ協議会は、同市河陽が丘の手入れされなくなった竹林約20竹を借りて、タケノコが再び収穫できるよう整備している。間伐で出た竹を活用するため、放課後に開かれている「すくすく教室」に提供した。

1〜4年生20人が参加し、指導員の西田博美さん(52)「奥海印寺」が万華鏡の作り方を教えた。

児童は、長さ15センチに切りそろえられた竹筒の中に、三角柱にした合わせ鏡を入れ、先端にアクリル製のボールをはめ込んで接着剤で固定した。

接着剤が乾くまでの間は、西田さんが竹を用いて作ったカルタを楽しんだ。

完成した万華鏡を児童がのぞくと、景色が合わせ鏡に繰り返し反射して無限の広がりを見せた。2年生の山田寛之君(7)は「いっぱい景色が見える。とても面白い」と感心していた。(高野英明)